

図-6-5 少花粉スギの種子1g当たりの粒数と発芽率の関係

注. 図中の各データは品種(個体)が異なる

(説明)

種子1g粒数と発芽率の間に相関は認められません
(種子の大きさは発芽率に関係ない)

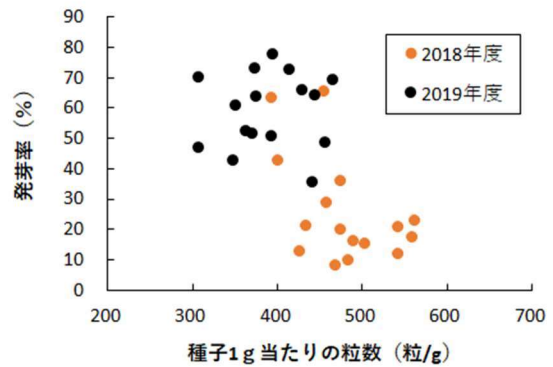


図-6-6 少花粉ヒノキの種子1g当たりの粒数と発芽率の関係

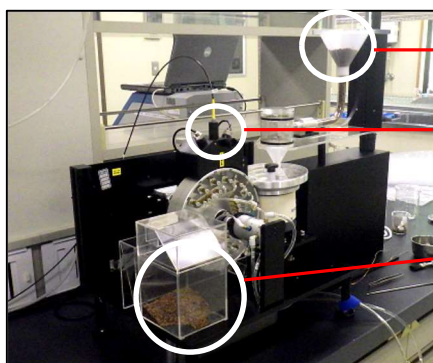
注. 図中の各データは品種(個体)が異なる

(説明)

種子1g粒数と発芽率の間に相関が認められます
(種子が大きいほど発芽率は高い)

7 充実種子の選別方法

当研究所では、苗木生産者に供給する種子について、光学的に高発芽種子を選別する充実種子選別機(図-7、九州計測器製)による種子の選別を行っています。この機器は、種子の表面をカメラで撮影後、その反射光から種子に含まれる脂質量により、高発芽種子を判別します。この方法により、コンテナトレイを始め、培土や肥料等のロスをも最小限に抑制し、コンテナ育苗の効率化を図ることが可能となりました。今後、「直接播種」については、これまでの多粒播種から一粒播種*が主流となることが予想されます。



選別前の種子

カメラ

選別後の高発芽種子

図-7 充実種子選別機(九州計測器製)による高発芽種子の選別

1回目選別	充実率	60~80%
2回目	" "	70~85%
3回目	" "	80~90%

充実種子選別機による処理時間の目安

10,000粒(20~30g) / 時間処理

480~720g / 24時間

これを、3回繰り返して選別すると、
充実率80~90%の種子が得られる